

基 本 本 事 項	事務事業名	児童ショートステイ事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成22年度 ~ 未設定	事業年齢	11歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市子どものショートステイ事業実施要綱		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費	
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費 児童健全育成事業	
	目的	対象(誰を、何を)	社会的事由によって、家庭における児童の養育が困難となった3歳未満児童及びその保護者			手段(どのような事業を行うのか)	委託契約した児童福祉施設において、対象児童の養育を一時的に行う。	
	対象年齢	00	02	3歳未満乳幼児				
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	一時的に保護者に代わり、専門施設において養育を行うことで、安心して子供を預けることができる。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主要業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30410301 児童ショートステイの利用			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303101 児童ショートステイ事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し			

区分	区 分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	14	14	68	14	0	43	43
	② 人件費	155	379	379	75	△ 304	75	75
	正職員投入人員	0.02人	0.05人	0.05人	0.01人	△ 0.04人	0.01人	0.01人
	正職員人件費	155	379	379	75	△ 304	75	75
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	169	393	447	89	△ 304	118	118	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	14	14	14	14	0	12	12
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金			14		0	12	12
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	155	379	419	75	△ 304	94	94
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象 指標	① 事業対象児童	人	2,100	1,900	1,900	1,900	1,900
	3月31日現在の3歳未満の子どもの総数		1,860	1,811	1,664		
活動 指標	① 広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数	回	4	4	4	4	4
	各種手段により市民向けに周知した回数		4	4	4		
	②						
成果 指標	① ショートステイ利用日数	日	5	5	5	5	5
	延べ利用日数		0	0	0		
	②						

評価年度の主な取組	児童ショートステイ事業
	1 委託先 (1)社会福祉法人 愛の泉 愛泉乳児園 (2)社会福祉法人 愛全会 富士見乳児院 2 実績数 R3年度 0件

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 意図 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 役割分担(行政関与) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	当市から近い乳児院と契約を交わしており、対象、手段は妥当である。一般的に専門施設において養育を行うことで、保護者が安心して子どもを預けることができるので、意図として妥当である。 行政にしか出来ない事業であり、役割分担は妥当である。			
業効性	目標達成度 種別 活動指標 令和3年度 100.00% ★★★★★ 達成された 成果指標 令和3年度 0% ★ 達成度がかなり低い	評価指標(指標性質) ① 広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数 (増加目標指標)	令和1年度 100.00% ★★★★★ 達成された	令和2年度 100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 上位施策への貢献度 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	① ショートステイ利用日数 (増加目標指標) 達成度がかなり低い 利用のための手続きの負担はあるが、必要な方が必要な時に利用できるよう事業の周知を図ることができれば成果は向上すると考えられる。5か年計画である「子ども・子育て支援事業計画」に位置付けられている事業であり、上位施策への貢献度は高い。				
価効率性	単位当たりコスト変動率 令和3年度 22.70% 減少している 22,285.00 円	単位当たりコスト換算指標 広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	令和1年度 95.14% 若干減少している 42,175.00 円	令和2年度 232.78% 増加している 98,175.00 円		
	コスト改善の余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 受益者負担適正化の余地 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	委託単価は、国の補助単価に合わせており、コスト改善の余地はない。受益者負担額は実施要綱で必要額を定めており、適正化の余地はない。				

改革改善	これまでの改革・改善内容	市のホームページのほか、子育て専用サイトの「ママフレ」や「よしよしねっと」を通じて、周知を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 保護者の急な疾病・事故等により、乳幼児等の養育が一時的に困難になる場合がある。児童福祉施設の入所状況によっては、当該児童の受け入れができない場合がある。	機会(プラス要素) 保護者の急な疾病・事故等への対応として、選択肢の一つとして挙げられる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

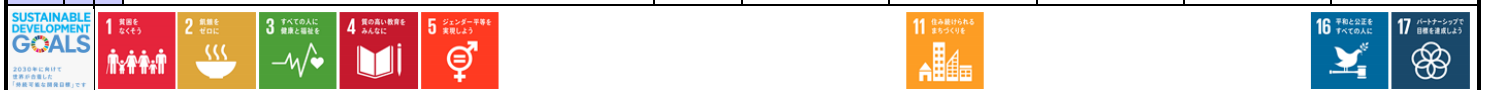
事業(一次)の方針	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	児童虐待防止対策事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係						
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有			<input type="checkbox"/> 無	根拠法令等		児童福祉法、吉川市要保護児童対策地域協議会運営要綱			
		まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
		施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有		<input checked="" type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分	一般会計				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費		
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	児童健全育成事業		
	目 的 的	対象 (誰を、何を)	虐待や養育支援困難により保育を必要とする児童や支援が必要とされる児童(0歳から18歳未満)及び出産後の養育について出産前から支援が必要な妊婦。									
対象年齢		0	17									
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		対象児童が適正な養育環境のもとで養育される。										
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		主な業務プロセス			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30410601	要保護児童対策地域協議会				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	303102 児童虐待防止対策事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	戦略1「住みよさ」推し					

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	609	1,396	4,046	3,638	2,242	864	864
	② 人件費	14,078	13,330	13,330	12,999	△ 331	28,597	28,597
	正職員投入人員	1.82人	1.76人	1.76人	1.73人	△ 0.03人	2.79人	2.79人
	正職員人件費	14,078	13,330	13,330	12,999	△ 331	20,964	20,964
	会計年度任用職員人件費					0	7,633	7,633
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	14,687	14,726	17,376	16,637	1,911	29,461	29,461	
資 源	⑥ 国庫支出金	90	94	60	1,209	1,115	2,021	2,021
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	78	53	60	24	△ 29	59	59
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	14,519	14,579	17,256	15,404	825	27,381	27,381	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 要保護児童対策対象年齢児童数	人	13,200	12,881	12,871	12,787	12,787
	3月31日現在の18歳未満の児童総数		12,785	12,685	12,420		
活 動 指 標	① 要保護児童対策地域協議会個別ケース会議	回	38	38	40	40	45
	関係機関による個別ケース会議開催数		38	28	30		
	② 要保護児童対策地域協議会実務者会議	回	6	6	6	6	6
	実務者会議開催数		6	6	6		
成 果 指 標	③ 要保護児童対策地域協議会代表者会議	回	1	1	1	1	1
	代表者会議開催数		1	1	1		
①	要保護児童対策地域協議会での管理ケース数	件	27	27	30	30	40
	年度内の取扱件数		29	24	35		
②	要保護児童対策地域協議会での終結件数	件	7	7	7	7	10
	年度内の終結件数		4	14	10		



評価年度の主な取組	1 要保護児童対策地域協議会	3 「ほめてはぐむ子育て講座」 暴力や暴言を使わずに子どもを育てるスキルを学ぶ講座 (1) 市民向け 実施回数 3回(3回目はまん延防止等重点措置期間により2回目の講座は中止) 修了者数 7名 (2) 職員向け 実施回数 2回 参加人数 15名
	(1) 会議	
	代表者会議 1回	
	実務者会議 6回	
	個別ケース会議 30回	
	(2) 管理ケース35件	4 専門研修 市内保育所・幼稚園等の保育士・幼稚園教諭、相談援助に携わる市職員 児童虐待対応研修(オンラインと対面のハイブリッド型) 参加者数 22名
	前年度からの継続ケース 24件	
	新規ケース 11件	
	R3年度最終ケース 10件	
	2 児童虐待相談対応件数 56件(実人数) ※令和3年度福祉行政報告例より	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	要保護児童対策地域協議会は、児童福祉法第25条の2第1項に基づく協議会であり、関係機関により構成されるため、市が行う事業としては妥当である。対象児童や家庭に関し、関係機関が支援方針を決定し、役割分担を行うことにより、対象児童及びその家族への適切な支援を行うことができ、手段として妥当である。また、対象児童の適正な養育・保護が行われることが、当事業の重要な意図である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業績性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	75.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 要保護児童対策地域協議会個別ケース会議 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	73.68% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	142.86% ★★★★★ 達成された	② 要保護児童対策地域協議会での最終結案件数 (増加目標指標)	57.14% ★★★★ 達成度がやや低い	200.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	子育て講座の充実を図ることで虐待防止につながる事が期待できるため、成果向上の余地はある。吉川市総合振興計画で掲げられている児童虐待防止の観点からも上位施策への貢献度は非常に高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		105.44% 若干増加している 554,561.93 円	要保護児童対策地域協議会個別ケース会議 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	99.57% ほぼ変動していない 386,502.50 円	136.07% 増加している 525,927.46 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費は、協議会委員の報償費、公用車、子育て講座に係る経費であり、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求める事業ではない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度から家庭児童相談員を講師とする「子育て講座」を開催。なお、講座名については平成30年度から「ほめてはぐむ子育て講座」と親しみやすい名称に変更している。相談業務についても平成30年6月より家庭児童相談員を1名増員し、支援の充実を図っている。令和元年度には、2回にわけて「児童虐待を考える講座」を開催し、学識経験者や専門医を講師に招き、関係機関間の連携強化を図った。令和2年度には、コロナ禍の中で子どもの見守り強化事業に取り組み、要保護児童等への支援を進めた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。</td> <td>新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)						

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年4月に設置し、支援体制の強化を図った。引き続き、要支援児童及び要保護児童等の支援に適切に対応していく。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

Table with project details including '子ども・子育て支援事業計画推進事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '対象', '類似事業', and '前年度事務事業'.

Table with financial data for '投入源' (Investment Source) showing '区分' (Division), '令和1年度決算(千円)', '令和2年度決算(千円)', '令和3年度' (Budget/Actual/Change), '令和4年度当初(千円)', and '令和5年度計画(千円)'.

Table with performance indicators for '目標設定実績' (Target Setting Actual Results) showing '区分' (Division), '指標名(上段)', '計算式・説明(下段)', '単位', and '令和1年度' through '令和5年度' values.



評価年度の主な取組	令和3年度児童福祉審議会の開催 1 第1回(令和3年9月10日開催) (1)吉川市子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況について
	2 第2回(令和3年11月2日開催) (1)第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況について (2)吉川市子どもの貧困対策推進計画に係る指標の実績について (3)吉川市子どもの貧困対策推進計画に係る各取組の進捗について

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供の確保、並びに関連する業務の円滑な実施に関し管理していくことは、行政・家庭・地域が一体となった子育て支援や児童の健全育成などの子育てをしやすいまちづくりにつながるため、意図としては妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 児童福祉審議会の開催回数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	評価不可	① 計画の進捗率(幼児期の学校教育・保育) (増加目標指標)	評価不可	評価不可		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設等の整備を行っていくことにより、成果向上する余地がある。吉川市総合振興計画で掲げられている「地域における子育ての支援」への貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		88.55% 減少している 337,736.00 円	児童福祉審議会の開催回数	80.56% 減少している 1,109,655.00 円	34.37% 減少している 381,390.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	通常のコストについては、審議会の報償費、費用弁償であり改善の余地は無い。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	児童福祉審議会において、委員からいただいた意見を計画に反映し、子どもの最善の利益の実現を第一とする子ども主体の考え方を新たに基本理念に加えた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 待機児童の発生や、地域のつながりの希薄化が挙げられる。	機会(プラス要素) 子ども・子育て支援事業計画を着実に推進していく中で、現状や進捗状況の確認を行っていく。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ホームスタート事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成28年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(1)地域における子育ての支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費 児童健全育成事業
		目的	対象(誰を、何を)	妊婦又は未就学児のいる保護者		手段(どのような事業を行うのか)	市から委託されたホームスタートよしかわ推進協議会のビジターが、対象家庭を訪問し、話を聞いたり、子どもと一緒に遊んだりしながら、子育て中の家族の不安に寄り添う。	
		対象年齢	00	06				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	子育ての不安が軽減する。						
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主要業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30310101 ホームスタート事業の運営委託		
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303104 ホームスタート事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し		

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	1,416	1,516	1,527	1,525	9	1,699	1,699
	② 人件費	541	454	454	451	△ 4	451	451
	正職員投入人員	0.07人	0.06人	0.06人	0.06人	0	0.06人	0.06人
	正職員人件費	541	454	454	451	△ 4	451	451
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,957	1,970	1,981	1,976	5	2,150	2,150	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	472	505	508	508	3	565	565
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	472	505	508	508	3	565	565
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,013	960	965	960	△ 1	1,020	1,020
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 妊婦又は未就学児をもつ家庭	人	5,350	5,300	5,300	5,300	5,300
	妊婦届出者数+3月31日現在の6歳以下の子どもの総数		5,205	5,027	4,763		
活 動 指 標	① 訪問回数	回	210	210	220	230	240
	ビジターが家庭訪問をした延べ回数		311	266	253		
	② 周知活動の手法	件	8	8	8	8	8
	健診や説明会などホームスタート事業を案内する方法の種類		8	8	8		
成 果 指 標	① ホームスタート訪問件数	件	26	26	30	35	40
	ビジターが家庭訪問をした世帯数		40	31	32		
②							

評価年度の主な取組	1 事業概要 よしかわ子育てネットワークと社会福祉協議会が協働で「ホームスタートよしかわ推進協議会」を運営し、研修を受けたボランティアが未就学児のいる家庭や妊産婦のもとを訪問することで、傾聴と協働による家庭訪問型の子育て支援を行う。
	2 事業実績 (1)家庭訪問をした世帯数 32件(内訳:新規24件、継続8件) 延べ訪問回数 253回 (2)全ビジター数 33名

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童虐待や家庭崩壊のような深刻な事態になることを未然に防ぐための啓発を目的としており、対象や意図についても妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					一定のノウハウを身に付けた地域ボランティアが利用者宅へ出向き実施しており、役割分担については妥当である。
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	② 周知活動の手法 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	106.67%, ★★★★★ 達成された	① ホームスタート訪問件数 (増加目標指標)	153.85%, ★★★★★ 達成された	119.23%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的なニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用に繋げることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		105.43% 若干増加している 7,809.64 円	訪問回数	68.17% 減少している 6,294.05 円	117.69% 増加している 7,407.67 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	サービスは無料で提供しており、改善の余地は無い。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	対象者に妊婦を追加することで、利用者の多様なニーズに対応できるようサービス内容の充実を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 核家族化や地域のつながりの希薄さ等が挙げられる。	機会(プラス要素) 家庭訪問により、きめ細やかに対応することで、対象者への寄り添った対応が可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	産前・産後ヘルプサービス事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成28年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市産前・産後ヘルプサービス事業利用助成金交付規則		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(1)地域における子育ての支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』		予算科目	会計区分	一般会計	
	目的	対象(誰を、何を)	市内在住で母子保健法の規定により母子健康手帳の交付を受けた妊婦又は出産後1年未満の者で当該出産した子を養育している者で、昼間に家事又は育児を行う者がほかにいない妊産婦及びそれに準ずるもの。		手段(どのような事業を行うのか)	款	民生費	児童福祉費
	目的	対象年齢	00	99		目	児童福祉総務費	児童健全育成事業
	目的	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	子育ての負担感が軽減される。			目	児童福祉総務費 児童健全育成事業	
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			執行方法	補助・負担等	ヘルパーが提供する家事及び育児の区分に応じた利用料の補助		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	303105 産前・産後ヘルプサービス事業		主要業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30310501	産前・産後ヘルプサービス事業	
				CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	戦略1「住みよさ」推し		

区分	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	147	61	183	56	△ 5	183	183
	② 人件費	1,392	530	530	225	△ 305	75	75
	正職員投入人員	0.18人	0.07人	0.07人	0.03人	△ 0.04人	0.01人	0.01人
	正職員人件費	1,392	530	530	225	△ 305	75	75
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,540	591	713	282	△ 310	258	258	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	76	76	60	61	△ 15	61	61
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	49	76	60	61	△ 15	61	61
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,415	439	593	160	△ 280	136	136
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目	区分	指標名(上段)		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値		
指標	①	対象妊産婦及び0歳児		人	1,300	1,200	1,200	1,200	1,200
		妊娠届出者数+0歳児			1,175	1,117	1,056		
活動指標	①	広報、市ホームページなどによる周知回数		回	5	5	5	5	5
		各種手段により市民向けに周知した回数			5	5	5		
実績	①	産前・産後ヘルプサービス利用回数		回	140	120	120	120	120
		延べ利用回数			78	28	19		

評価年度の主な取組	1 令和3年度登録者数 7名
	2 利用実績 延べ利用回数 19回 実利用時間 29時間 助成額 56,080円
	3 利用料金(1時間当たり) 課税世帯1,100円、非課税世帯740円、生活保護世帯380円
	4 市助成額(令和3年度、1時間当たり) 課税世帯1,760円、非課税世帯2,120円、生活保護世帯2,480円
	5 サービス内容 (1)家事援助(食事の準備・片付け・洗濯・掃除等) (2)育児援助(授乳、おむつ交換) ※沐浴は別途料金

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	サービスの提供により利用者の負担が軽減され、対象や意図についても妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市が認めた事業所のヘルパーが利用者宅へ出向き実施しており、役割分担については妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 広報、市ホームページなどによる周知回数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	15.83%, ★ 達成度がかなり低い	① 産前・産後ヘルプサービス利用回数 (増加目標指標)	55.71%, ★★★ 達成度がやや低い	23.33%, ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的ニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用につなげることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率	
		47.61% 減少している 56,300.00円	広報、市ホームページなどによる周知回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	307.66% 増加している 307,910.00円	38.41% 減少している 118,260.00円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	課税世帯、市民税非課税世帯、生活保護世帯の保護者に対し、利用助成金を交付しているが、登録事業者が抱えるスタッフ確保の課題等により、ヘルパー利用料金が増額傾向にあることから、この増額に対応するための利用助成の在り方を研究し、受益者負担の適正化等を図る必要がある。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	登録事業者から、スタッフ確保の状況や産前産後ケアを行う近隣事業者の料金等を鑑み、令和3年度から1時間当たりのヘルパー利用料金を増額したい旨の申し出を受け、当該事業者との交渉及び調整の上、市助成額の増額を図ることで、利用者負担を増大させることなく、受益者負担の適正化を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) コロナ禍により利用を差し控えることが懸念される。	機会(プラス要素) サービスの提供により、利用者の育児・家事に係る負担が軽減される。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	緊急サポート事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成23年度 ~ 未設定	事業年齢	10歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市緊急サポート事業実施要綱		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	子育て支援センター等運営事業
	目的	対象(誰を、何を)	小学6年生までの子どもを持つ子育て家庭			手段 (どのような事業を行うのか)	病気又は病気回復期にある児童の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かり、宿泊を伴う児童の預かり等の援助を希望する者に対して、看護師、保育士、保健師等の有資格者等の支援につなげる。	
	対象年齢	00	99	全年齢				
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	仕事と育児が両立できるようになる。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター運営事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30310601 緊急サポートセンター委託事業			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303106 緊急サポート事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し			

区分	区分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	916	924	924	924	0	924	924
	② 人件費	696	379	379	150	△ 228	150	150
	正職員投入人員	0.09人	0.05人	0.05人	0.02人	△ 0.03人	0.02人	0.02人
	正職員人件費	696	379	379	150	△ 228	150	150
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,612	1,303	1,303	1,074	△ 228	1,074	1,074	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	305	308	308	308	0	308	308
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	305	308	308	308	0	308	308
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,002	687	687	458	△ 228	458	458
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	0歳～小学6年生までの子どもをもつ家庭		人	9,500	9,000	9,000	9,000	9,000
		3月31日現在の12歳以下の子どもの総数			9,098	8,921	8,593		
活動指標	①	講習会受講数		人	5	5	5	5	5
		サポート会員養成講習会受講者数			4	0	1		
	②	サポート会員数		人	30	30	30	30	30
		緊急サポートネットワーク埼玉に登録したサポート会員累計			26	25	26		
成果指標	③	事業周知回数		回	6	6	6	6	6
		当事業に関して広報等の手段で事業を周知した回数			6	6	6		
成果指標	①	利用件数		件	32	40	40	40	40
		実際に当事業を利用した件数			40	17	31		
	②	登録者数		人	170	200	200	200	200
当事業を利用するために登録した総登録者累計		193	208		216				

評価年度の主な取組	1 対象年齢 0歳から小学校6年生まで
	2 利用実績 病児1件、預かり4件、送迎26件、宿泊0件
	3 利用料金 午前8時から午後8時 1,000円/1h 午後8時から翌朝午前8時 1,200円/1h 宿泊(午後6時から翌朝9時) 10,000円/1泊

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	夜間や宿泊、病児・病後児に対する緊急サポート事業。当該事業を利用することで、仕事と育児が両立できるようになるため、意図として妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	86.67%, ★★★★★ 概ね達成された	② サポート会員数 (増加目標指標)	86.67%, ★★★★★ 概ね達成された	83.33%, ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	77.50%, ★★★ 達成度がやや低い	① 利用件数 (増加目標指標)	125.00%, ★★★★★ 達成された	42.50%, ★★ 達成度が低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的ニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用につなげることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		79.29% 減少している 41,318.46円	サポート会員数 活動指標を単位として換算 単位:円/人	125.05% 増加している 61,990.38円	84.06% 減少している 52,108.00円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	コストについては、適切な内容であると考え。子育て中の保護者に対してこれ以上の負担を求めることは困難である。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	利用料金については、県内市町で同一となっているため、改善は困難である。 ファミリーサポートセンター利用者に、緊急サポートセンターの利用案内も行う。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 核家族化や保護者の就労体系の多様化により、個々の状況に応じた子育て支援が求められている。	機会(プラス要素) 夜間や宿泊、病児・病後児に対する緊急時の支援が可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	家庭児童相談事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成8年度 ~ 未設定	事業年齢	25歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市家庭児童相談員取扱要綱		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	児童健全育成事業
	目的	対象(誰を、何を)	18歳未満の児童及び保護者			手段(どのような事業を行うのか)	・家庭児童相談員による相談業務(市役所、児童館、乳幼児健診時)	
	対象年齢	00	99	全年齢				
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	保護者の悩みが和らぐ(解消する)。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ひとり親家庭等自立支援事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420301 家庭児童相談			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303107 家庭児童相談事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し			

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	4,867	99	153	125	25	0	0
	② 人件費	1,006	6,200	6,604	6,652	451		
	正職員投入人員	0.13人	0.10人	0.10人	0.11人	0.01人		
	正職員人件費	1,006	757	757	827	69		
	会計年度任用職員人件費		5,443	5,847	5,825	382		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	5,873	6,300	6,757	6,777	477	0	0	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	12	14	15	15	1			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	5,861	6,286	6,742	6,762	476	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対象指標	① 家庭児童相談事業の対象児童数	人	13,200	12,881	12,871	12,787	12,787
	② 3月31日現在の18歳未満の子どもの総数		12,785	12,685	12,420		
活動指標	① 家庭児童相談員の設置すべき日数	日	241	241	242	242	242
	② 家庭児童相談員が勤務する日数		222	238	242		
	③						
成果指標	① 相談受付件数	人	510	700	700	750	750
	② 家庭児童相談員の相談実取扱人員数		730	737	858		
	③ 相談終結件数	件	30	30	30	30	40
	④ 不安排除、問題解決件数		10	10	10		

評価年度の主な取組	家庭児童相談員 相談実績		
	相談場所	件数	相談日等
	子育て支援課	785	月曜日から金曜日
	児童館ワンダーランド	41	毎週火曜日(休館日を除く):午前9時30分~11時30分
	美南小学校	1	毎月第3金曜日:午前9時30分~午前11時30分
	吉川小学校	3	毎月第3金曜日:午後1時30分~午後3時30分
	旭小学校	1	毎月第4金曜日:午前9時30分~午前11時30分
	3歳4ヶ月健診	27	不定期、月2回程度
合計	858		

事業	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	専門的な知識を持つ相談員が、子育てをしている市民の悩みや不安を解消するため、目的としては妥当である。		
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	相談には、個人情報が多く含まれるため、個人情報保護の観点からも行政の役割として妥当である。			
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 家庭児童相談員の設置すべき日数 (増加目標指標)	92.12%, ★★★★★ 概ね達成された	98.76%, ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	122.57%, ★★★★★ 達成された	① 相談受付件数 (増加目標指標)	143.14%, ★★★★★ 達成された	105.29%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	解決まで導くことができる件数はわずかではあるものの、市民に積極的に相談実施場所や日程の周知、体制づくりをすることにより、相談受付数の増加が図れるため、成果向上の余地はある。また、第5次総合振興計画においても、家庭児童相談員による相談体制の充実を位置づけていることから、上位施策への貢献度も高い。				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率	
		105.79% 若干増加している 28,002.69 円	家庭児童相談員の設置すべき日数 活動指標を単位として換算 単位:円/日 26,453.20 円	93.95% 若干減少している 26,469.32 円	100.06% ほぼ変動していない		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費の大半が相談員の人件費であるため、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求めることは、子育て世帯が気軽に相談できる機会を失うこととなるため、適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成30年6月より家庭児童相談員を1名増員し、2名体制とした。また、乳幼児健診時の出張相談や、コロナ禍において、専用ダイヤルの開設やオンライン子育て相談体制の整備など、相談体制の充実を図った。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>家庭児童相談員が相談を受ける場所として、9割が子育て支援課である。出張相談のあり方について、見直す必要がある。</td> <td>新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	家庭児童相談員が相談を受ける場所として、9割が子育て支援課である。出張相談のあり方について、見直す必要がある。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
家庭児童相談員が相談を受ける場所として、9割が子育て支援課である。出張相談のあり方について、見直す必要がある。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)						

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化				
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	児童虐待防止対策事業に統合する。				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化				
	説明	児童虐待防止対策事業に統合する。				
	二次評価日	令和4年6月22日				

Table with columns for '事務事業名' (Child Poverty Countermeasure Promotion Business), '所管部署名' (Child Welfare Dept), '事前評価日' (Sept 1, 2021), '事業区分' (Autonomous Business), and '実施計画の位置付け' (Implementation Plan Positioning).

Table with columns for '区分' (Category), '区分' (Sub-category), and financial data for '令和1年度' through '令和5年度' (Budget, Actuals, Change, etc.).

Table with columns for '目標名' (Target Name), '単位' (Unit), and performance data for '令和1年度' through '令和5年度' (Target, Actuals, etc.).



評価年度の主な取組	であう・きづく・つなぐ・つながる未来プロジェクト —吉川市子どもの貧困対策推進計画— (2019年3月策定)	
	1 基本理念	すべての子どもが希望をもって力強く成長していけるよう、子どもの貧困を見逃さず、 であう・きづく・つなぐ・つながる未来へ子どもたちを応援します。
	2 対象	妊娠前から18歳までの子どものうち、現在困難を抱える家庭の子ども・将来困難を抱える 可能性がある子どもと保護者。ただし、若者を対象とする施策については、18歳を超える 年齢も含む。
	3 計画の期間	2019年度～2023年度
	4 基本目標	①子どもの育ちに直接つながる支援に取り組みます。 ②子どもを守り支える保護者への支援に取り組みます。 ③生活困難な家庭の生活基盤立て直しへの支援に取り組みます。 ④支援の輪の仕組みづくりに取り組みます。
5 令和3年度の主な取組	・子ども未来応援集会の開催(3回開催:8/3、10/14、2/7) ・ひとり親家庭支援(おやつゴーランド開催:8/29～30、お米配布:1/16開催)	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	子どもの貧困は、様々な問題が複合的に交錯しながら発生し、その状態を放置すれば、次世代にわたり貧困の負の連鎖が生じてしまう。全ての子どもが安心して日々を送り、自分の将来に希望が持てる社会の実現を目指して、貧困の負の連鎖を断ち切り、子どもたちが社会を「生き抜く力」を身につけられるよう支援する必要があることから、様々な視点で、子どもの貧困対策を推進することは、対象・手段、意図ともに妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業績性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	84.00%, ★★★★★ 概ね達成された	① 相談受付件数(就労・資格取得) (増加目標指標)	152.50%, ★★★★★ 達成された	220.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	200.00%, ★★★★★ 達成された	① 就職決定者数 (増加目標指標)	66.67%, ★★★ 達成度がやや低い	166.67%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ひとり親家庭等への支援策に係る他事業(手当支給、医療費助成等)との連携を図ることや、様々な視点から施策横断的な貧困対策を講じることにより、成果向上の余地はある。また、第5次総合振興計画に子どもの貧困対策を位置づけており、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率	
		68.75% 減少している 56,073.81 円	相談受付件数(就労・資格取得) 活動指標を単位として換算 単位:円/件	32.91% 減少している 82,099.66 円	99.35% ほぼ変動していない 81,561.94 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成29年度は「子育て世帯生活実態調査」の実施・分析を進め、平成30年度は当該調査に基づき、子どもの貧困対策推進計画を策定し、令和元年度から当該計画に基づき、各取組を推進しているところであり、コスト改善の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成29年度では「子育て世帯生活実態調査」を実施し、平成30年度では、当該調査に基づき、現状及び課題を整理した上で、解決に向けた取組を位置付けた子どもの貧困対策推進計画を策定した。引き続き、当該計画に基づき、各種取組を推進する。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、子どもの貧困対策に関わる様々な活動の自粛や規模縮小が想定される。	機会(プラス要素) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、その感染防止策の徹底を図るとともに、地域と連携しながら、孤立や経済的困窮等に対し、対応策を講じる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

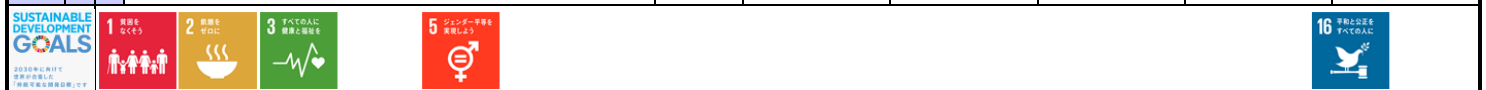
事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和4年6月22日				

基 本 本 事 項	事務事業名	児童健全育成事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係				
	事業期間	平成8年度 ~ 未設定	事業年齢	25歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法				
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	創生総合戦略との関連	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』				款 項	民生費	児童福祉費	
	目的	対象(誰を、何を)	・妊産婦 ・配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子(保護者である者)とその者の監護すべき児童(18歳未満)			手 段 (どのような事業を行うのか)	目 細目	児童福祉総務費	児童健全育成事業	
	的	対象年齢	00	99	全年齢		執行方法	直営		
類似事業	意 図(対象にどのような状態になってほしいのか)	・助産を受けることができる。 ・生活に必要な適切な支援が受けられる。			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420101 助産施設の利用				
前年度事務事業	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	5,140	5,302	4,633	4,309	△ 993	4,238	4,238
	② 人件費	1,083	2,784	2,895	2,646	△ 138	3,939	3,939
	正職員投入人員	0.14人	0.17人	0.17人	0.14人	△ 0.03人	0.14人	0.14人
	正職員人件費	1,083	1,288	1,288	1,052	△ 236	1,052	1,052
	会計年度任用職員人件費		1,497	1,607	1,594	97	2,887	2,887
③ 間 接 経 費 (加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	6,223	8,086	7,528	6,955	△ 1,131	8,177	8,177	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	2,048	2,053	2,078	2,582	529	2,036	2,036
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑦ 県支出金	1,024	1,027	1,039	1,291	264	1,018	1,018
	県補助率	1/4	1/4	1/4	1/4		1/4	1/4
	⑧ 市 債					0		
⑨ そ の 他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	3,151	5,006	4,411	3,082	△ 1,924	5,123	5,123
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 相談件数	人	3	3	3		
	助産施設利用の相談をした人数		3	2	3	3	3
活 動 指 標	① 助産施設人数	人	3	3	3		
	助産を実施した人数		2	2	3	3	3
成 果 指 標	① 助産施設実施割合	%	100.00	100.00	100.00		
	相談者に対して助産施設に措置した割合		66.66	100.00	100.00	100.00	100.00



評価年度の主な取組	1 助産施設利用状況				
	H29	H30	R1	R2	R3
	1件	2件	2件	2件	3件
	2 母子生活支援施設利用状況				
	H29	H30	R1	R2	R3
	1件	1件	1件	1件	1件

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	助産の実施については、妊産婦の経済的な援助をすることで不安や悩みの解消につながり、経済的理由により入院助産を受けられない妊産婦の孤立化を防ぐことで、福祉の向上を図ることができる。 母子生活支援施設への入所については、母子家庭の生活が安定し、自立の促進を図ることができる。 いずれも制度の特性上、対象の拡大・縮小の余地はない。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 助産施設人数 (増加目標指標)	66.67%, ★★★★ 達成度がやや低い	66.67%, ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 助産施設実施割合 (増加目標指標)	66.66%, ★★★★ 達成度がやや低い	100.00%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	経済的困窮家庭や特別な事情のある母子家庭に対する制度は関係各課にも市民にも周知しており、成果向上の余地はある。また、第5次総合振興計画に掲げる「子どもの健やかな成長の支援」に寄与する事業であり、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		57.34% 減少している 2,318,414.00 円	助産施設人数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	112.44% 増加している 3,111,557.50 円	129.94% 増加している 4,043,211.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	国が定める基準額により委託料を決定しているため、コスト改善の余地はない。受益者負担についても、国が定める基準により所得に応じた利用者負担を求めている。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	妊産婦健診や日々のケースワークの中で、生活に困窮している妊産婦や虐待等が疑われるケースへの適切な案内が求められることから、関係各課へ制度周知をし、相談業務を受ける際も関係課職員が同席するなどして連携している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少など経済的な影響を受けている。社会的閉塞感から、DVや虐待が疑われる家庭や出産を控える貧困世帯は、より支援が必要となる。	機会(プラス要素) 助産施設措置委託により、経済的に困窮している世帯の妊婦が安心して出産に臨むことができる。またDVや虐待を受けた母子が母子生活支援施設に入所することにより、自立に向けた支援を受けられる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	国が定める基準額による委託料であり、事業費のコスト改善の余地はないが、総合振興計画におけるまちづくりの基本理念のうち、「市民の幸福実感の向上」につながるよう、引き続き今後も各関係課への制度周知を行っていく。また、SDGsにおける各ゴールを目指しながら適切な支援を行っていく。	

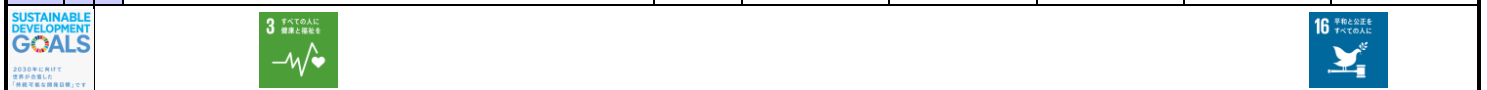
事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 令和1年度決算(千円), 令和2年度決算(千円), 令和3年度(予算/決算/増減額), 令和4年度当初(千円), 令和5年度計画(千円). Rows include A (事業費), B (特定財源), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分).

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 令和1年度(目標/実績), 令和2年度(目標/実績), 令和3年度(目標/実績), 令和4年度計画(見込), 令和5年度計画(見込). Rows include 対象指標, 活動指標, 成果指標.



評価年度 の 主な 取組	令和3年度 吉川市青少年相談員活動事業実績				
	日時	事業名	参加者		事業内容
	12月25日	クリスマス会	相談員 9人	子ども 11人	
					キャンディーブーケづくり

事業 性 業 効 性 価 効 率 性	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	吉川市青少年相談員協議会運営費補助金交付要綱に基づき、青少年の健全な育成を目的とした活動を行う吉川市青少年相談員協議会に対し補助金を交付、運営に係る事務を実施することは、対象・手段、意図ともに妥当である。				
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標 (指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	② 事業開催回数 (増加目標指標)	75.00%, ★★★ 達成度がやや低い	0% ★ 達成度がかなり低い	
		成果指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 事業参加者の青少年相談員に対する満足度 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	評価不可		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	財政的な支援を継続的に行うことにより、成果向上の余地はあり、基本計画に対しても貢献度は高い。				
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	効 率 性	単位当たり コスト 変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
評価不可 106,584.00 円			事業開催回数 活動指標 を単位として換算 単位：円/回	190.38% 増加している 106,450.00 円	評価不可			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	会費、事業参加者からの参加費、傷害保険料等を随時徴収している。青少年相談員活動に対する補助事業であり、コスト改善と受益者負担の余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	県内では事業が縮小傾向にある中で、吉川市の青少年相談員委嘱者数は、現状維持に努めている。事業参加者の満足度が高いことから、より参加者が増加するよう、事業の周知方法の工夫について、協議会に働きかけている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になった事業がある。活動実績が少ないことで、青少年相談員の認知度が減少し、新規会員の獲得が困難となり、協議会の存続が危ぶまれる。	
		新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みながら、事業実施の際のリスクを検討するなど情報共有を図った。市民視点からも活動の実施については現状取り得る最善の選択をした。	
		今後、ソーシャルネットワークサービスなどを活用することで、青少年相談員の活動を幅広く発信することにより、会員や事業への参加者の増加を促進し、協議会の発展を図る。	

事業 の 一 次 方 向 性 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説 明					
	二次評価日	令和4年6月22日				

基 本 本 事 項	事務事業名	子ども医療費支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	昭和48年度 ~ 未設定	事業年齢	48歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市子ども医療費支給に関する条例		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	医療費支給事業
	目的	対象(誰を、何を)	(直接の対象)15歳に達する日以後最初の3月31日に達するまでの子ども(最終的な対象)その保護者 対象年齢 00 15 0歳から15歳に達する年度末まで			執行方法	直営	
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	子どもの医療費を支給することにより、子育て中の家庭の経済的負担が軽減される。			手段(どのような事業を行うのか)	・対象者の受給資格登録を行い、資格証を交付する。 ・対象者の医療費(保険負担分)を助成する。			
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ひとり親家庭等医療費支給事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420401 子ども医療費受給資格証交付申請			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303204 子ども医療費支給事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し			

区分	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	293,692	228,312	268,530	257,300	28,988	278,858	278,858
	② 人件費	7,194	8,246	8,963	10,910	2,663	11,655	11,655
	正職員投入人員	0.93人	0.69人	0.69人	1.03人	0.34人	1.03人	1.03人
	正職員人件費	7,194	5,226	5,226	7,739	2,513	7,739	7,739
	会計年度任用職員人件費		3,020	3,737	3,170	150	3,916	3,916
③ 間接経費(加算)	1,985	1,339	2,295	1,788	449	3,005	3,005	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	302,871	237,897	279,788	269,997	32,100	293,518	293,518	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金	35,542	26,952	34,979	33,585	6,633	33,053	33,053
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	8	8	10	9	1	10	10	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	267,321	210,937	244,799	236,403	25,466	260,455	260,455
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計算式・説明(下段)		目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値		
対象指標	①	15歳以下の子どもの数	人	11,422	11,000	11,000	11,000	11,000
		登録している子どもの数(3月1日現在)		11,172	11,084	10,832		
活動指標	①	子ども医療費支給件数	件	170,000	140,000	140,000	140,000	140,000
		子ども医療費申請書の件数及び医療費明細書の件数		164,763	120,842	138,352		
成果指標	①	受給資格登録者率	%	99.3	95.0	95.0	95.0	95.0
		登録している子どもの数/15歳以下の子どもの総数(3月1日現在)		98.6	98.8	99.0		
	②	子ども医療費の助成額	千円	290,641	258,000	258,000	258,000	258,000
		実際に支給した額		281,315	219,939	249,484		

評 価 年 度 の 主 な 取 組	子ども医療費支給事業(令和3年度実績)							
	支給件数		支給総額		医療費証明事務件数		事務報償費支払額	
	入院	449 件	16,096,027 円		2,286件		228,600円	
	通院	137,909 件	233,404,206 円					
合計	138,358 件	249,500,233 円						

事 業 評 価	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	吉川市子ども医療費支給に関する条例に基づいているため、対象・手段、意図ともに妥当である。 子育て支援のひとつとして行政が医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担が軽減され、子どもが必要な医療を必要な時に受けられるようになるため、妥当である。				
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	98.82%, ★★★★ 概ね達成された	① 子ども医療費支給件数 (増加目標指標)	96.92%, ★★★★ 概ね達成された	86.32%, ★★★★ 概ね達成された	
		成果指標	104.21%, ★★★★★ 達成された	① 受給資格登録者率 (増加目標指標)	99.30%, ★★★★ 概ね達成された	104.00%, ★★★★★ 達成された		
		成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	該当者に対しては制度を周知しており、成果向上は難しいものの、子育て世帯が安心して必要な医療を受けられることから有効性は高い。また、直接的な経済支援を行っていることから、基本計画の「子どもの健やかな成長の支援」の実施に貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
99.13% ほぼ変動していない 1,951.52 円			子ども医療費支給件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	100.94% ほぼ変動していない 1,838.22 円	107.10% 若干増加している 1,968.66 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもが必要な医療を受けられるようになることから、現時点において受益者負担を求めることは難しい。県費補助対象の拡大などについては引き続き市長会等を通じて求めていく。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	平成28年度から市内医療機関での受診に係る子ども医療費の審査支払委託事務を外部委託したことにより、事務負担の軽減と効率化、事務費の縮減を図ることができた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	子ども医療費支給の制度・請求等に関する市ホームページによる情報発信や、市内各サービスセンターでの申請、郵送による医療費の申請を引き続き受け、制度利用の機会をより身近に提供できるよう引き続き実施していく。	

事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	医療費県内窓口無料化(現物化)について、6月議会において条例改正案を上程した。令和4年10月からの実施に向けて準備を進行している。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	医療費県内窓口無料化(現物化)について、6月議会において条例改正案を上程した。令和4年10月からの実施に向けて準備を進行している。			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ひとり親家庭等医療費支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	平成5年度 ~ 未設定	事業年齢	28歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』		予算科目	会計区分	一般会計	
	目的	対象(誰を、何を)	ひとり親家庭等の18歳(一定の障がいがある場合は20歳)に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童、その児童を養育している一定所得基準未満である母(父)または養育者		手段(どのような事業を行うのか)	款	項	民生費 児童福祉費
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	15 99	子ども、重度医療費対象以外		目	細目	児童福祉総務費 医療費支給事業
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	子ども医療費支給事業		執行方法	直営		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	303205 ひとり親家庭等医療費支給事業		主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30420501	ひとり親家庭等医療費受給者証交付申請	
				CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	13,474	12,651	13,592	12,347	△ 304	16,306	16,306
	② 人件費	2,398	2,954	2,954	2,630	△ 324	2,630	2,630
	正職員投入人員	0.31人	0.39人	0.39人	0.35人	△ 0.04人	0.35人	0.35人
	正職員人件費	2,398	2,954	2,954	2,630	△ 324	2,630	2,630
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)	662	756	659	608	△ 148	967	967	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	16,533	16,361	17,205	15,585	△ 776	19,903	19,903	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金	6,580	6,370	6,659	6,080	△ 290	7,650	7,650
	県補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	9,953	9,991	10,546	9,505	△ 486	12,253	12,253
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 支給対象者数	人	743	743	700	700	700
	3月1日現在の支給対象者数		648	620	628		
	② 市内児童数(18歳以下)	人	13,850	13,850	13,700	13,700	13,700
	3月1日現在の18歳以下の子どもの総数		13,597	13,416	13,217		
活 動 指 標	① 支給件数	件	5,385	5,200	5,200	5,200	5,200
	支給件数(医療費支給申請書の件数)		5,475	5,113	5,086		
	②						
成 果 指 標	① 医療費の支給率	%	65.10	65.10	65.00	65.00	65.00
	支給件数/延べ支給対象者数		69.10	69.46	70.00		
	② ひとり親家庭等医療費の助成額	千円	14,060	13,750	13,750	13,750	13,750
	実際に支給した助成額		13,193	12,477	12,182		

評価年度 の 主な 取組	ひとり親家庭等医療費支給実績件数			
	支給件数		支給総額	
	入院	20 件	628,180 円	
	通院	5,066 件	11,553,825 円	
	合計	5,086 件	12,182,005 円	
			医療費証明事務件数	事務報償費支払額
			370件	37,000円

事業 業 評 価	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例に基づき施行しているため、対象・手段、意図ともに妥当である。 経済的基盤が比較的弱い一定のひとり親家庭等に対して、行政が医療費助成を行うことは、家庭の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることになるため、妥当である。				
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有 効 性	目 標 達 成 度	種別	令和3年度	評価指標 (指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	97.81%, ★★★★★ 概ね達成された	① 支給件数 (増加目標指標)	101.67%, ★★★★★ 達成された	98.33%, ★★★★★ 概ね達成された	
		成果指標	107.69%, ★★★★★ 達成された	① 医療費の支給率 (増加目標指標)	106.14%, ★★★★★ 達成された	106.70%, ★★★★★ 達成された		
		成果向上の 余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	対象家庭と見込まれる場合には、制度を周知することで成果の向上が見込まれる。医療費助成は、基本計画のひとり親家庭等への支援に貢献している。				
		上位施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	効 率 性	単 位 当 た り コ ス ト 変 動 率	種別	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率
活動指標			95.76% 若干減少している 3,064.29 円	支給件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	95.77% 若干減少している 3,019.81 円	105.96% 若干増加している 3,199.81 円		
コスト改善 の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経費の大半が扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、埼玉県補助圏内(住民税課税者に対しては、助成額から自己負担額を控除)のとおり助成しており、受益者負担は適正であると考えられる。					
	受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	市内医療機関に対して事務報償費を支払い、申請書の受領及び証明を委任することにより申請手続きを簡素化し、受給者の利便性を図っている。				
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスの感染対策方法が普及したことにより、医療機関の受診を控える傾向が改善され、今後、医療費が増加する傾向となる。</td> <td>新型コロナウイルスの感染拡大の影響で衛生観念が高まったことから、今後、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する傾向となる。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルスの感染対策方法が普及したことにより、医療機関の受診を控える傾向が改善され、今後、医療費が増加する傾向となる。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で衛生観念が高まったことから、今後、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する傾向となる。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルスの感染対策方法が普及したことにより、医療機関の受診を控える傾向が改善され、今後、医療費が増加する傾向となる。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で衛生観念が高まったことから、今後、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する傾向となる。					
行財政改革大綱との 関連 (点検・確認)	子ども医療費支給の制度・請求等に関する市ホームページによる情報発信や、市内各サービスセンターでの申請、郵送による医療費の申請を引き続き受け、制度利用の機会をより身近に提供できるよう引き続き実施していく。					

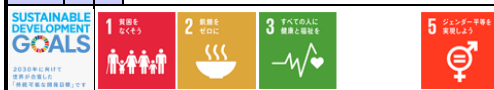
事業 の 一 次 評 価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)	医療費県内窓口無料化(現物化)について、6月議会において条例改正案を上程した。令和5年1月からの実施に向けて準備を進行している。			
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説 明	医療費県内窓口無料化(現物化)について、6月議会において条例改正案を上程した。令和5年1月からの実施に向けて準備を進行している。			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ひとり親家庭等自立支援事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	平成17年度 ~ 未設定	事業年齢	16歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、市母子・父子自立支援員設置要綱		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』		予算科目	会計区分	一般会計	
	個別計画の位置付け	対象(誰を、何を)	・離婚を考えている方 ・ひとり親家庭の方 ・配偶者に一定の障がいのある方		手 段 (どのような事業を行うのか)	款 項	民生費 児童福祉費	
	目的	意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	00 99 全年齢		目 細目	児童福祉総務費 ひとり親家庭等自立支援事業	
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 家庭児童相談事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420601 自立支援相談		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303206 ひとり親家庭等自立支援事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	11,772	8,467	9,993	9,219	752	10,258	10,258
	② 人件費	1,470	5,782	5,945	5,970	188	7,740	7,740
	正職員投入人員	0.19人	0.41人	0.41人	0.56人	0.15人	0.56人	0.56人
	正職員人件費	1,470	3,105	3,105	4,208	1,103	4,208	4,208
	会計年度任用職員人件費		2,677	2,840	1,762	△ 915	3,532	3,532
③ 間 接 経 費 (加算)					0			
④ コスト対象外 (除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	13,242	14,250	15,938	15,189	939	17,998	17,998	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	5,842	7,130	9,333	11,133	4,003	8,048	8,048
	国補助率	3/4	3/4	3/4	3/4		3/4	3/4
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市 債					0		
⑨ そ の 他	6	6	8	5	△ 1	9	9	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	7,394	7,114	6,597	4,051	△ 3,063	9,941	9,941
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 児童扶養手当受給資格者数	人	600	600	550	550	550
	3月1日現在の人数		544	511	515		
	② 市内児童数(18歳以下)	人	13,850	13,850	13,700	13,700	13,700
	3月1日現在の人数18歳以下の子どもの総数		13,597	13,416	13,217		
活 動 指 標	① 母子・父子自立支援員の設置日数	日	145	145	145	145	145
	母子・父子自立支援員が勤務する日数		148	148	114		
	② 新規相談者	人	60	60	60	60	60
	新規相談者の人数		42	49	43		
成 果 指 標	① 相談受付件数	人	150	150	150	150	150
	ひとり親家庭等の相談実取扱人員数		148	148	150		
	② 自立支援教育訓練給付金受給者数	人	3	3	3	3	3
	給付金を受給した人数		0	3	1		



評価年度の主な取組	ひとり親家庭等自立支援事業(令和3年度)				
	1 母子・父子自立支援員による相談件数及び相談内容				
	相談件数	150件			
	2 東部中央福祉事務所による出張個別相談会実施回数				
	実施回数	2回			
	内容	就労相談・貸付相談 ※ハローワークによる就労相談会は感染防止対策のため実施なし			
3 高等職業訓練促進給付金支給実績			4 高等職業訓練修了給付金支給実績		
件数	支給金額	内容	件数	支給金額	
9件	8,148,500円	看護師・准看護師・美容師	1件	25,000円	
5 自立支援教育訓練給付金支給実績			6 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金支給実績		
件数	支給金額	内容	件数	支給金額	
1件	59,673円	介護職員初任者研修	0件		

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	狙うべき対象は、離婚を考えている方、ひとり親家庭の方などであり、現在の対象と一致しており妥当である。孤立しがちなひとり親家庭の様々な相談を通じて、不安や悩みを解消し、制度や修学案内等も併せて行うことで、ひとり親家庭の自立を促進するため、手段、意図ともに妥当と考える			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	各給付金については国が進める母子家庭等対策総合支援事業に位置付けられたものであり、対象の拡大・縮小の余地はない。事業の意図は、ひとり親家庭等の自立の促進であることから、そのための相談・指導・情報提供を行うものであり、拡大・縮小の余地はない。				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	福祉資金貸付制度などの県事業においても、ひとり親家庭に対する支援を行っているが、母子・父子自立支援員の設置など市が求められる責任は高まっており、相談者が身近な市役所で相談できるという利便性が高いことから、行政の役割分担として妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	78.62% ★★★★ 達成度がやや低い	① 母子・父子自立支援員の設置日数 (増加目標指標)	102.07% ★★★★★ 達成された	102.07% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 相談受付件数 (増加目標指標)	98.67% ★★★★★ 概ね達成された	98.67% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ひとり親家庭への支援策に係る他事業(手当支給、医療費助成等)との連携を図ることで、成果向上の余地はある。ひとり親家庭の自立を促進することで、基本計画のひとり親家庭への支援に貢献している。				
業効性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和3年度	令和1年度	令和2年度	変動率		
		121.47% 増加している 353,232.79 円	206.25% 増加している 315,276.50 円	92.24% 若干減少している 290,810.08 円			
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費の大半が支援員の人件費と扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求めることは、ひとり親家庭等が気軽に相談できる機会を失うこととなるため、適正化の余地はない。					
業効性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度から父子家庭への支援も対象となり、さらに、平成28年度からの制度改革により、自立支援教育訓練給付金については支給金額等が拡充、高等職業訓練促進給付金については給付期間や対象資格が拡充された。また、公共職業安定所(ハローワーク)と連携した就労相談会を実施し、相談者にとって身近な場所ですら就労相談が行えるよう改善を図った。児童扶養手当現況届の際に、各自立支援関係給付金制度の案内や、母子・父子自立支援員の紹介を行い、養育費相談会を実施した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	支援員の人件費と扶助費が主な経費であり、事業費のコスト改善の余地はないが、総合振興計画におけるまちづくりの基本理念のうち、「市民の幸福実感の向上」につながるよう、引き続き母子・父子自立支援員による相談体制の充実を図っていく。また、ひとり親を安定的な雇用に繋げられるよう、引き続き各給付制度を案内しながら、SDGsにおけるバックカスティングの視点を取り入れ、ひとり親の就業ニーズや必要とする情報について機会を捉えて把握することを今後の課題とする。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	児童扶養手当支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	昭和37年度 ~ 未設定	事業年齢	59歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童扶養手当法		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			目	款	項	民生費 児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	目	細目	児童措置費 児童扶養手当支給事業
	目的	対象(誰を、何を)	父又は母がいない、父又は母に一定の障がいがある等で18歳到達後最初の年度末までの児童(一定の障がいがある場合は20歳未満)を養育するひとり家庭等			手段(どのような事業を行うのか)	・制度の周知を図る。(広報・ホームページ) ・年1回(8月)現況届により手当額を判定する。 ・年6回手当を支給する(令和元年度より)。	
	対象年齢	00	99	全年齢				
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進が図られる。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420701 児童扶養手当認定請求			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303207 児童扶養手当支給事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

区分	区分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	289,391	216,292	216,337	212,105	△ 4,187	222,178	222,178
	② 人件費	7,194	9,770	9,770	8,040	△ 1,730	8,040	8,040
	正職員投入人員	0.93人	1.29人	1.29人	1.07人	△ 0.22人	1.07人	1.07人
	正職員人件費	7,194	9,770	9,770	8,040	△ 1,730	8,040	8,040
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)	1,984	2,503	2,502	1,858	△ 645	2,901	2,901	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	298,569	228,566	228,609	222,003	△ 6,562	233,119	233,119	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	96,300	73,223	71,939	71,859	△ 1,364	73,994	73,994
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	202,269	155,343	156,670	150,144	△ 5,198	159,125	159,125
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
目標設定	① 対象指標	児童扶養手当受給資格者数		人	600	600	550	550	550
		3月1日現在の人数			544	511	515		
	②	市内児童数(18歳以下)		人	13,850	13,850	13,700	13,700	13,700
		3月1日現在の18歳以下の子どもの総数			13,597	13,416	13,217		
実績	① 活動指標	受給者数		人	530	530	500	500	500
		受給資格者数から停止者数を引いた数(3月1日現在)			474	442	448		
	②	広報掲載回数		回	1	1	1	1	1
		制度概要の広報掲載回数			1	1	1		
③	支給対象児童数		人	810	810	750	750	750	
	3月1日現在の人数			733	685	704			
	① 成果指標	一部支給停止事由該当者数(減額適用)		人	0	0	0	0	0
		一部支給停止事由に該当した受給者数(減額適用)			2	1	4		
②	支給対象者率		%	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	
	支給対象児童数÷18歳以下の児童数			5.3	5.0	5.3			



評価年度の主な取組	令和3年度実績	
	1 児童扶養手当支給事業	
	支給人数	支給総額
	2,658	210,636,950円
	2 受付件数	
認定	78件	
喪失	45件	
※年齢到達を除く		

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するために、受給者の所得に応じた手当額を支給する経済的支援であり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市で所有する情報や対象者本人からの聞き取りを要するなど、市民と近い距離にある自治体が行う事務として妥当である。(児童扶養手当法に基づいて実施)					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)		令和1年度	令和2年度	
		活動指標	89.60%, ★★★★★ 概ね達成された	① 受給者数 (増加目標指標)	89.43%, ★★★★★ 概ね達成された	83.40%, ★★★★★ 概ね達成された		
	成果指標	88.33%, ★★★★★ 概ね達成された	② 支給対象者率 (増加目標指標)	89.83%, ★★★★★ 概ね達成された	84.75%, ★★★★★ 概ね達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	他制度の変更事由が発生した際など、対象家庭と見込まれる場合には、もれなく制度の案内を行うことで成果の向上が見込まれる。また、手当支給という直接的な経済支援であり、自立の促進を図れることから総合的な子育て支援策として有効性は高い。					
価値性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度 95.83% 若干減少している 495,543.20 円	単位当たりコスト換算指標		令和1年度 132.38% 増加している 629,891.89 円	令和2年度 82.10% 減少している 517,116.54 円	
		コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経費の大半が扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、所得に応じた手当支給事業であるため受益者負担の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成17年度から母子自立支援員を設置(法改正により平成26年度から母子・父子自立支援員)し、制度の案内と併せて就業案内等、ひとり親家庭等への自立の促進を行っている。平成28年5月の法改正により、平成28年8月分から、第2子及び第3子以降の加算額が最大で倍額に増額された。令和2年10月の法改正により、令和3年3月認定分から、児童扶養手当と障害基礎年金等との併給調整の見直しが行われた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>子育ての負担を一人で担っていること、また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることや物価の高騰により、収入減少や支出の増加の影響を受けており、心身共に大きな困難を抱えている。</td> <td>ひとり親家庭等の将来的な自立のために、相談体制の整備、ひとり親の自立支援給付といった母子の自立支援事業が行われていることにより、適切な手当の受給をする機会が作られている。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	子育ての負担を一人で担っていること、また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることや物価の高騰により、収入減少や支出の増加の影響を受けており、心身共に大きな困難を抱えている。	ひとり親家庭等の将来的な自立のために、相談体制の整備、ひとり親の自立支援給付といった母子の自立支援事業が行われていることにより、適切な手当の受給をする機会が作られている。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
子育ての負担を一人で担っていること、また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることや物価の高騰により、収入減少や支出の増加の影響を受けており、心身共に大きな困難を抱えている。	ひとり親家庭等の将来的な自立のために、相談体制の整備、ひとり親の自立支援給付といった母子の自立支援事業が行われていることにより、適切な手当の受給をする機会が作られている。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	広報やホームページなどによる、制度の周知及び案内。他部署との情報共有により、必要な人に必要な支援を提供できるよう実施。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業, CP戦略プランとの関連

Table with 10 columns: 区分, 区分, 令和1年度決算(千円), 令和2年度決算(千円), 令和3年度(予算(千円), 決算(千円), 増減額(千円)), 令和4年度当初(千円), 令和5年度計画(千円). Rows include A (事業費), B (特定財源), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分)

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 令和1年度(目標(見込)値, 実績値), 令和2年度(目標(見込)値, 実績値), 令和3年度(目標(見込)値, 実績値), 令和4年度計画(見込)値, 令和5年度計画(見込)値. Rows include 対象指標, 活動指標, 成果指標

評価年度 の 主な 取組	令和3年度児童手当支給実績				非被用者				
	被用者	月額	延べ児童数	支給額	3歳未満	月額	延べ児童数	支給額	
	3歳未満	15,000円	15,760人	236,400,000円	3歳未満	15,000円	2,701人	40,515,000円	
	3歳以上 小学校修了前	10,000円	67,782人	677,820,000円	3歳以上 小学校修了前	10,000円	12,801人	128,010,000円	
		15,000円	6,358人	95,370,000円		15,000円	1,451人	21,765,000円	
	追給分			120,000円	被用者(計)			16,953人	190,290,000円
	被用者(計)		89,900人	1,009,710,000円					
	特例給付	月額	延べ児童数	支給額					
	被用者	5,000円	9,513人	47,565,000円					
	非被用者	5,000円	1,094人	5,470,000円					
特例給付(計)		10,607人	53,035,000円						

事業 当 性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童手当法に基づく全国的に同様の制度であるため、対象・手段、意図ともに妥当である。			
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担 (行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業 有 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	94.67%, ★★★★ 概ね達成された	① 受給者数 (増加目標指標)	97.13%, ★★★★ 概ね達成された	96.53%, ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 制度利用率 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の 余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	今後も継続してすべての対象者が受けられるようにすることが必要である。手当を支給することで子育て家庭への経済面での支援となっており、基本計画の「子どもの健やかな成長の支援」に大きく貢献している。				
上位施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価 効 率 性	単位当たり コスト 変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		100.60% ほぼ変動していない 210,624.24 円	受給者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	100.29% ほぼ変動していない 210,952.03 円	99.25% ほぼ変動していない 209,368.03 円		
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	支給に関する事務については、効率的に行っており、現在のところ改善の余地はない。また、手当制度であるとともに、所得制限も導入されており、受益者負担適正化の余地はない。				
受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	手続き漏れがないよう市民全体への周知を図る必要があるため、転入届、出生届、現況届等の手続き時に制度及び申請案内をするよう徹底している。また、市民の利便性を高めるため、郵送や各市民サービスセンターで手続きができることの周知も毎年徹底している。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	広報やホームページなどによる情報発信や他部署との情報共有により、対象者に漏れなく制度を提供できるよう実施した。	

事業 の 一次 評価 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次 評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係			
	事業期間	令和3年度 ~ 令和4年度		事業年齢	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			根拠法令等	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業実施要綱		
		まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策				事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	民生費	児童福祉費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	低所得の子育て世帯			手 段 (どのような 事業を行うのか)	執行方法	直営	
		対象年齢	00	99	全年齢(児童の養育者)			児童1人につき5万円を給付する。	
意図 (対象にどのような状態に なってほしいのか)		家計が支援される。							
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主要業務プロセス				<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
前年度事務事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費			119,354	73,071	73,071	89,636	0	
	② 人件費	正職員投入人員			0.64人	1.12人	1.12人		
		正職員人件費			4,847	8,416	8,416		
		会計年度任用職員人件費			1,122	2,813	2,813		
		③ 間接経費(加算)					0		
④ コスト対象外(除外)						0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	0	0	125,323	84,300	84,300	89,636	0		
資 源	⑥ 国庫支出金	国補助率			1	1	1		
		⑦ 県支出金					0		
	⑧ 市債					0			
	⑨ その他					0			
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	4,847	△ 67,310	△ 67,310	0	0	
D	補助・単独区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	支給世帯数		世帯	-	-	-	-	-
		子育て世帯生活支援特別給付金を支給した世帯数			-	-	824	-	-
活 動 指 標	①	実施事業数		事業	-	-	-	1	-
		子育て世帯生活支援特別給付に係る実施事業数			-	-	1		
成 果 指 標	①	支給額		千円	-	-	66,700	78,500	-
		子育て世帯生活支援特別給付金の支給額			-	-	66,650		
	②								



評価年度 の 主 な 取 組	令和3年度子育て世帯生活支援特別給付金 支給実績			
		ひとり親世帯	その他世帯	計
	支給額	35,100,000円	31,550,000円	66,650,000円
	支給内訳	世帯数 451世帯	373世帯	824世帯
	児童数	702人	631人	1,333人

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	国の通知等に基づき実施する事業であり、対象・手段、意図は妥当である。				
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	国の通知により、給付事業の実施主体は市区町村とされている。				
業 有 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標 (指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	評価不可	① 実施事業数 (増加目標指標)	評価不可	評価不可	
	成果指標	100.07%, ★★★★★ 達成された	① 支給額 (減少目標指標)	評価不可	評価不可		
	成果向上の 余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	給付事業という事業の性質から成果向上の余地はない。 また、上位施策への位置づけはない。				
	上位施策への 貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価 効 率 性	単位当たり コスト 変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		評価不可 1,264.82 円	支給額 成果指標を単位として換算 単位：円/千円	評価不可	評価不可		
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	国の10/10補助事業であり、費用は人件費や最低限の事務費でありコスト改善の余地はない。 また、給付事業であるため受益者負担はない。				
	受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容					
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)		
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)						

事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説 明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	令和3年度 ~ 令和4年度		事業年齢	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一
	基本 の 計 画 係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		根拠法令等	子育て世帯等臨時特別支援事業支給事務実施要綱		
		まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
		施策				事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度	
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款 項	民生費	児童福祉費	
	事 項	対 象 的 目 的	対象 (誰を、何を)	離婚等により、令和3年9月分の児童手当受給者でなかったものの、それ以降に新たに養育者となり、令和4年1月分の児童手当受給者になっている者			手 段 (どのような 事業を行うのか)	児童1人につき10万円を給付する。
			対象年齢	00	99	全年齢		
意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		家計が支援される。						
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		主な業務プロセス	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
前年度事務事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		執行方法	直営	

区分	区 分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費			1,242,994	1,171,899	1,171,899	20,529	0	
	② 人件費			4,847	10,970	10,970	5,410		
		正職員投入人員			0.64人	1.46人	1.46人	0.72人	
		正職員人件費			4,847	10,970	10,970	5,410	
	③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		0	0	1,247,841	1,182,870	1,182,870	25,939	0	
資 源	⑥ 国庫支出金			1,242,994	1,168,252	1,168,252	20,529		
		国補助率			1	1		1	
	⑦ 県支出金					0			
		県補助率							
	⑧ 市債					0			
⑨ その他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	4,847	14,618	14,618	5,410	0	
D	補助・単独区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独		

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	支給世帯数		世帯	-	-	7,400	25	-
		子育て世帯への臨時特別給付金を支給した世帯数			-	-	7,021		
活 動 指 標	①	実施事業数		事業	-	-	1	1	-
		子育て世帯への臨時特別給付に係る実施事業数			-	-	1		
成 果 指 標	①	支給額		千円	-	-	1,232,000	19,450	-
		子育て世帯への臨時特別給付金の支給額			-	-	1,185,300		
	②								



評価年度 の 主な 取組	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金 支給実績						
		児童手当受給者	高校生	新生児	公務員	支援給付金	合計
	支給額	971,700,000円	92,200,000円	19,000,000円	100,800,000円	1,800,000円	1,185,500,000円
	支給内訳	世帯数 5,446世帯	835世帯	184世帯	543世帯	13世帯	7,021世帯
	児童数	9,717人	922人	190人	1,008人	18人	11,855人

事業 業 評 価	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	国の通知等に基づき実施する事業であり、対象・手段、意図は妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					国の通知により、給付事業の実施主体は市区町村とされている。
	有効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 実施事業数 (増加目標指標)	評価不可	評価不可	
		成果指標	103.79%, ★★★★★ 達成された	① 支給額 (減少目標指標)	評価不可	評価不可		
		成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	給付事業という事業の性質から成果向上の余地はない。また、上位施策への位置づけはない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
	効率性	単当たりコスト変動率	令和3年度	単当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率	
997.95 円			支給額 成果指標を単位として換算 単位：円/千円					
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	国の10/10補助事業であり、費用は人件費や最低限の事務費でありコスト改善の余地はない。また、給付事業であるため受益者負担はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革 改 善	これまでの改革・改善内容			
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <td>リスク(マイナス要素)</td> <td>機会(プラス要素)</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)		
行財政改革大綱との関連(点検・確認)				

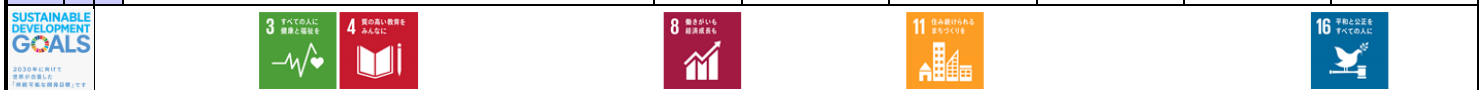
事業 一 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	児童館施設管理事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 児童館ワンダーランド			
	事業期間	平成1年度 ~ 未設定	事業年齢	32歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法			
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費		
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童館費 児童館管理運営事業		
	目的	対象(誰を、何を)	児童館施設利用者			手 段 (どのような事業を行うのか)	施設・設備の維持管理業務及び遊具等の貸出業務を行う。		
	対象年齢	00	99	全年齢					
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	安全で快適に施設を利用できる								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30330101 児童館遊具の安全点検・管理				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303301 児童館施設管理事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し				

区分	区 分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	15,030	10,665	8,803	8,742	△ 1,923	9,498	9,504
	② 人件費	7,735	2,651	2,651	827	△ 1,824	827	827
	正職員投入人員	1.00人	0.35人	0.35人	0.11人	△ 0.24人	0.11人	0.11人
	正職員人件費	7,735	2,651	2,651	827	△ 1,824	827	827
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	22,765	13,316	11,454	9,569	△ 3,747	10,325	10,331	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金			150	150	150		
	国補助率			1/2	1/2			
	⑦ 県支出金		498			△ 498		
	県補助率		1					
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	22,765	12,818	11,304	9,419	△ 3,399	10,325	10,331
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象 指標	① 市内18歳未満の人口	人	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	② 各年4月1日現在の市内18歳未満の人口		12,785	12,685	12,420		
活 動 指 標	① 開館日数	日	279	223	280	281	283
	② 選挙等の臨時休館等を除き、1年間に開館した日数		250	216	279		
	③ 遊具の点検実施日数		292	232	293		
成 果 指 標	① 1年間に遊具の点検を実施した日数	日	286	291	292	294	296
	②						
成 果 指 標	① 児童館利用者数	人	42,000	14,500	32,500	32,500	36,000
	② 1年間の児童館利用者総数		38,780	14,619	21,891		
③							



評価年度の主な取組	1 施設利用状況				
	区分	市内人数	市外人数	合計	
	児童	14,450人	1,484人	15,934人	
	大人	4,851人	1,106人	5,957人	
	合計	19,301人	2,590人	21,891人	
	2 施設管理事業の実施状況				
	区分	金額	内容		
	委託業務	清掃業務委託	2,745,600円	日常清掃(館内各所)、定期清掃(月1回、塩ビ床面清掃)、特別清掃(年間1~2回、フローリング清掃等)	
		警備委託	356,400円	施設閉館中の館内警備	
		空調設備保守点検	325,600円	館内空調設備の保守点検業務、室外機・室内機の点検整備、フィン洗浄等	
施設修繕	2階集会室カーペット修繕	145,200円	集会室床のカーペット全面貼替(経年劣化により剥がれ等の症状)		
	遊戯室ガラスブロック修繕	124,850円	遊戯室北側のガラスブロック修繕(投石により破損)		
	すべり台出発部修繕	44,000円	すべり台出発部の修繕(点検の結果「使用不可」との判定)		

事業性評価	区分	評価結果	判断理由(特記事項)					
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設として、乳幼児から小学生を中心とした世代に利用されている。対象である児童館利用者が安全に施設を利用するためには、日ごろの点検や、修繕・補修等(※1)が欠かせない。また、児童館で行っている竹馬等の遊具の貸出(※2)は、児童に健全な遊びを与え、その健康増進を図るという児童館の設置目的を達成することに寄与している。これらの理由から、対象・手段・意図はいずれも妥当である。 (※1)簡易な修繕や補修等については、職員で行っている。 (※2)コロナ禍以降、一部遊具の貸出及び持ち込みを制限している。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討					
	有効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	99.64% ★★★★ 概ね達成された	① 開館日数 (増加目標指標)	89.61% ★★★★ 概ね達成された	96.86% ★★★★ 概ね達成された	
		成果指標	67.36% ★★★ 達成度がやや低い	① 児童館利用者数 (増加目標指標)	92.33% ★★★★ 概ね達成された	100.82% ★★★★★ 達成された		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和3年度は、冬場の「第6波(オミクロン株)」により、市内小中学校においても学校閉鎖や学級閉鎖が相次ぎ、令和2年度のような公共施設の一斉休館は無かったものの、成果指標の目標達成度はやや低い結果となった。今後も少なくとも続くコロナ禍を見据え、引き続き成果向上に努めていく。なお、児童館利用者が安全で快適に施設を利用するため、施設・設備の適切な維持管理を行うことは、基本計画における「地域における子育ての支援」等、上位施策に高く貢献している。				
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
			47.99% 減少している 437.11円	児童館利用者数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	188.55% 増加している 587.03円	155.17% 増加している 910.87円		
コスト改善の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	館運営の民間事業者への委託などの手法が考えられ、コスト改善の余地がある。一方で、関係機関等とのシームレスな連携など、直営ならではの大きな利点もあり、慎重に見極めていく。また、入館料は無料であり、受益者負担は適正化されている。(変動率の補足説明)令和元年度に4,937,760円の入出修繕等、多額を要する修繕を行い、平成30年から令和元年度の変動率が特に大きくなっている。令和2年度以降は、令和元年度のような規模の施設修繕は無く、単位当たりコストが減少している。					
受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	館内照明のLED化、西側広場の遊具整備、入口前の階段修繕等を令和元年度までに行ってきた。コロナ禍が始まった令和2年度は、補助金も活用し、換気を目的とした窓枠修繕(網戸の設置)や手洗い時の接触機会減少のため、手洗い場の蛇口を立水栓式に変更する手洗器修繕などを行った。令和3年度については、長年の課題であった集会室床のカーペット修繕、遊戯室のガラスブロック修繕のほか、点検により危険性を指摘されたすべり台の修繕などを実施した。開館後30年以上を経過し、各所に劣化が目立つため、今後も適切な維持管理を行っていく。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要。今後も修繕に要する費用の予算要求を行う。また、耐用年数を大幅に超過している正面入口自動ドアの交換修繕を早急に行いたい。</td> <td>開館後33年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要。今後も修繕に要する費用の予算要求を行う。また、耐用年数を大幅に超過している正面入口自動ドアの交換修繕を早急に行いたい。	開館後33年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要。今後も修繕に要する費用の予算要求を行う。また、耐用年数を大幅に超過している正面入口自動ドアの交換修繕を早急に行いたい。	開館後33年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	子どもたちの居場所として地域に定着しているほか、相談業務等の実施による子育て支援拠点の一つとしても機能していることから、引き続き適切な施設の維持管理を行い、子どもをはじめとした市民満足度の向上に寄与する。特に、児童館が立地する美南地区は若年層や子育て世帯が多く、今後の定住も見据え、地域特性に応じたサービス向上を目指す必要がある。施設全般としては、各箇所の経年劣化が進んでおり、雨漏りなど緊急性の高い箇所を優先して修繕すべく、資源を投入していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了					
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大		<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)						
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一			

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了					
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大		<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明						
	二次評価日	令和4年6月22日					

基 本 本 事 項	事務事業名	児童館運営事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 児童館ワンダーランド				
	事業期間	平成1年度 ~ 未設定	事業年齢	32歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法				
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費		
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童館費 健全育成事業		
		目的	対象(誰を、何を)	児童館利用者			手段(どのような事業を行うのか)	体力増進事業、体験活動事業、子育て支援事業など、健全な遊びを通して、子どもの生活の安定と子どもの能力の発達を援助していく。		
		対象年齢	00	99	全年齢					
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	社会性や協調性が身に付き、心身ともに健やかな成長が促される。								
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30330201 事業の運営				
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303302 児童館運営事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	3,482	430	809	526	96	794	794
	② 人件費	17,636	25,334	26,161	29,927	4,594	30,133	30,133
	正職員投入人員	2.28人	3.00人	3.00人	3.56人	0.56人	3.56人	3.56人
	正職員人件費	17,636	22,722	22,722	26,750	4,028	26,750	26,750
	会計年度任用職員人件費		2,612	3,439	3,177	566	3,383	3,383
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	21,117	25,764	26,970	30,453	4,689	30,927	30,927	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	21,117	25,764	26,970	30,453	4,689	30,927	30,927
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 市内18歳未満の人口	人	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	市内18歳未満の人口		12,785	12,685	12,420		
活 動 指 標	① 開館日数	日	279	223	280	281	283
	選挙等の臨時休館等を除き、1年間に開館した日数		250	216	279		
	② 事業開催回数	回	600	370	500	500	500
	1年間のうちに事業を開催した回数		576	311	478		
成 果 指 標	① 事業参加者数	人	15,500	6,000	13,000	13,000	13,000
	1年間のうちに主催事業に参加した人数		14,623	6,164	7,530		
②							



評 価 年 度 の 主 な 取 組	1 定例事業(1回/週 開催)	2 定例事業(1回/月 開催)	4 未就園児対象事業																																																												
	<table border="1"> <tr><th>事業名</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> <tr><td>ワンダーシネマ</td><td>84回</td><td>1,170人</td></tr> <tr><td>わくわくらんど</td><td>39回</td><td>233人</td></tr> <tr><td>親子でスポーツ</td><td>69回</td><td>1,127人</td></tr> <tr><td>スポーツランド</td><td>48回</td><td>586人</td></tr> <tr><td>工作ランド</td><td>46回</td><td>321人</td></tr> <tr><td>あそぼうタイム</td><td>101回</td><td>1,743人</td></tr> <tr><td>宿題レスキュー隊</td><td>15回</td><td>123人</td></tr> <tr><td>計</td><td>402回</td><td>5,303人</td></tr> </table>	事業名	回数	人数	ワンダーシネマ	84回	1,170人	わくわくらんど	39回	233人	親子でスポーツ	69回	1,127人	スポーツランド	48回	586人	工作ランド	46回	321人	あそぼうタイム	101回	1,743人	宿題レスキュー隊	15回	123人	計	402回	5,303人	<table border="1"> <tr><th>事業名</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> <tr><td>マンカラ大会</td><td>7回</td><td>110人</td></tr> <tr><td>市民天体観望会</td><td>8回</td><td>156人</td></tr> <tr><td>プラネタリウム映画会</td><td>9回</td><td>150人</td></tr> <tr><td>計</td><td>24回</td><td>416人</td></tr> </table>	事業名	回数	人数	マンカラ大会	7回	110人	市民天体観望会	8回	156人	プラネタリウム映画会	9回	150人	計	24回	416人	<table border="1"> <tr><th>事業名</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> <tr><td>ワンダーサーキット</td><td>7回</td><td>138人</td></tr> <tr><td>おはなしらんど</td><td>8回</td><td>79人</td></tr> <tr><td>おえかきらんど</td><td>8回</td><td>102人</td></tr> <tr><td>びりびりらんど</td><td>8回</td><td>253人</td></tr> <tr><td>計</td><td>31回</td><td>572人</td></tr> </table>	事業名	回数	人数	ワンダーサーキット	7回	138人	おはなしらんど	8回	79人	おえかきらんど	8回	102人	びりびりらんど	8回	253人	計	31回	572人
	事業名	回数	人数																																																												
	ワンダーシネマ	84回	1,170人																																																												
	わくわくらんど	39回	233人																																																												
親子でスポーツ	69回	1,127人																																																													
スポーツランド	48回	586人																																																													
工作ランド	46回	321人																																																													
あそぼうタイム	101回	1,743人																																																													
宿題レスキュー隊	15回	123人																																																													
計	402回	5,303人																																																													
事業名	回数	人数																																																													
マンカラ大会	7回	110人																																																													
市民天体観望会	8回	156人																																																													
プラネタリウム映画会	9回	150人																																																													
計	24回	416人																																																													
事業名	回数	人数																																																													
ワンダーサーキット	7回	138人																																																													
おはなしらんど	8回	79人																																																													
おえかきらんど	8回	102人																																																													
びりびりらんど	8回	253人																																																													
計	31回	572人																																																													
	3 特別事業(季節イベントなど)	5 全事業の合計																																																													
	<table border="1"> <tr><th>実施時期等</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> <tr><td>夏季休業中</td><td>4回</td><td>95人</td></tr> <tr><td>夏季休業中以外</td><td>1回</td><td>29人</td></tr> <tr><td>ワンダークラブ</td><td>16回</td><td>1,115人</td></tr> <tr><td>計</td><td>21回</td><td>1,239人</td></tr> </table>	実施時期等	回数	人数	夏季休業中	4回	95人	夏季休業中以外	1回	29人	ワンダークラブ	16回	1,115人	計	21回	1,239人	<table border="1"> <tr><th>事業</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> <tr><td>1 定例事業</td><td rowspan="4">478回</td><td rowspan="4">7,530人</td></tr> <tr><td>2 定例事業</td></tr> <tr><td>3 特別事業</td></tr> <tr><td>4 未就園児対象事業</td></tr> </table>	事業	回数	人数	1 定例事業	478回	7,530人	2 定例事業	3 特別事業	4 未就園児対象事業																																					
実施時期等	回数	人数																																																													
夏季休業中	4回	95人																																																													
夏季休業中以外	1回	29人																																																													
ワンダークラブ	16回	1,115人																																																													
計	21回	1,239人																																																													
事業	回数	人数																																																													
1 定例事業	478回	7,530人																																																													
2 定例事業																																																															
3 特別事業																																																															
4 未就園児対象事業																																																															

事 業 評 価	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童館は、児童福祉法第40条に規定される児童厚生施設として、子どもに健全な遊びを提供し、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的としていることから、対象・手段、意図ともに妥当である。			
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	有 効 性	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	他自治体において、児童館の運営を指定管理者に委託する事例もあるが、本市においては、市の直営で運営することによるメリット(市関係機関との円滑な連携、事業に参加する児童からの直接意見聴取による施策への反映等)は大きく、行政関与は妥当である。今後も学校や子育て支援団体、その他の関係者、関係機関と適切に役割分担し、地域全体として子育て支援に寄与していく。			
		種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
目標達成度	活動指標 95.60% ★★★★ 概ね達成された	② 事業開催回数 (増加目標指標)	96.00% ★★★★ 概ね達成された	84.05% ★★★★ 概ね達成された			
効 率 性	成果指標	57.92% ★★★ 達成度がやや低い	① 事業参加者数 (増加目標指標)	94.34% ★★★★ 概ね達成された	102.73% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和3年度も、夏場の「第5波」やオミクロン株による冬場の「第6波」をはじめとしたコロナにより、各種主催事業についての大きな影響があった。このため、成果指標は達成度がやや低い結果となり、成果向上の余地が残る。一方で、コロナ禍においても活動指標が概ね達成できたことは、大きな成果である。本事業は、基本計画の「児童館を拠点とした子どもたちの体験事業等を通じ、児童健全育成のための事業推進」に合致し、「地域における子育て支援」に寄与することから、上位施策への貢献度は高い。				
効 率 性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和3年度 96.76% 若干減少している 4,044.24 円	単位当たりコスト換算指標	令和1年度 100.44% ほぼ変動していない 1,444.12 円	令和2年度 289.43% 増加している 4,179.75 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	様々な体験活動を通して、子どもが自ら考え行動する力を育み、物事を成し遂げた時の喜びを体感することを目的とし、登録型体験活動クラブ「ワンダークラブ」を実施。毎年300名の市内小学生が活動しており、保護者からの事業への期待も高い。また乳幼児を対象とした事業(4事業)を毎月1回実施し、児童館の利用促進と子育て支援環境の充実を図った。児童館利用者が他の利用者に児童館事業を紹介した結果、その方が新たな利用者となるなど、児童館への期待が高まっていることを実感しており、今後もニーズに応じた多様な事業展開を図っていく。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	児童館では、家庭や学校以外の「第3」(あるいは「第4」)の居場所として、子どもの健全育成を目的とした事業を実施している。児童館が立地する地域では、特に若年層や子育て世帯が多いことから、今後も子どもの居場所、あるいは活動場所として、児童館へのニーズは引き続き高いと推察する。今後は、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えつつ、時代に即した事業内容を常に検討し、児童館を利用することもをはじめとした市民満足度の向上に寄与していく。	

事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和4年6月22日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 令和1年度決算(千円), 令和2年度決算(千円), 令和3年度(予算/決算/増減額), 令和4年度当初(千円), 令和5年度計画(千円). Rows include A (Total Costs), B (Specific Resources), C (Total Costs), D (Subsidy).

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 令和1年度(目標/実績), 令和2年度(目標/実績), 令和3年度(目標/実績), 令和4年度計画(見込), 令和5年度計画(見込). Rows include ① 全市民, ② 全市民, ① 活動指標, ② 活動指標, ③ 成果指標.



評 価 年 度 の 主 な 取 組	1 プラネタリウム投影回数及び観覧者数				
	区分	回数	市内人数	市外人数	合計人数
	一般投影	185回	1,333人	367人	1,700人
	団体投影	3回	13人	42人	55人
	学習投影	12回	426人	-	426人
	計	200回	1,772人	409人	2,181人
	2 天体観望会実施回数及び参加者数				
	区分	回数	参加者数	1回あたり参加人数	
	天体観望会(月1回)	8回	156人	19.5人	

区 分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	全市民を対象に、宇宙や天文学への興味関心を高めることを目的とした当事業では、天候を問わず、星空を見ることが出来る「プラネタリウム」の投影や、実際の天体や季節特有の天文現象を観望する「天体観望会」を実施している。これらの手段は、いずれも児童館において全市民が気軽にリアルな天文現象を観望できる機会であり、本事業の目的及び市民満足度の向上に寄与することから、対象・手段及び意図は妥当である。 他自治体では、児童館の運営を指定管理者等に委託するケースも見受けられる。特に、天文学については、他自治体では学芸員が務めるケースも多いが、専門的な内容に偏り過ぎるきらいがあり、当館にはそぐわない。現時点では、「宙ボーイ」(市民ボランティア)による天文現象の解説が親しみやすく好評であることから、今後も来館者のニーズに即した天文学運営事業を展開すべく、適切な役割分担を検討していく。			
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討					
業 有 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	80.00%, ★★★★★ 概ね達成された	① プラネタリウム投影回数 (増加目標指標)	89.20%, ★★★★★ 概ね達成された	125.23%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	72.70%, ★★★ 達成度がやや低い	① プラネタリウム観覧者数 (増加目標指標)	109.96%, ★★★★★ 達成された	398.73%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和3年度は成果指標の目標達成度がやや低かった。明確な要因を見出すことは難しいが、特に観覧者数の少ない1月から3月の3か月間は、「第6波」が猛威を振るい、市内小中学校において毎日のように学級閉鎖が続いたことを顧みると、コロナの影響と考えざるを得ない。コロナ禍を踏まえつつも工夫を凝らし、引き続き成果向上に努めていく。なお、当事業は、基本計画中の「児童健全育成のための事業推進」による「地域における子育ての支援」に寄与することから、上位施策への貢献度は高い。				
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		97.61% 若干減少している 17,945.71 円	プラネタリウム投影回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	41.09% 減少している 15,490.77 円	118.69% 増加している 18,385.66 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	当事業の「手段」は、特殊な機器の操作など、必ず人手を要するものであり、コスト改善の余地はない。単位当たりコストの変動については、児童館30周年記念事業において多くの事業費が投入された後、令和2年度には、コロナの影響による活動指標実績が過年度と比較して減少し、単位当たりコストが上昇。令和3年度は大きな変動要因は無く、今後は平準化するものと推察。受益者負担については、観覧料見直しの余地があるものの、こどもが気軽に遊びに来る場所であるため、熟考する必要がある。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	令和3年度は、7月より新たなプラネタリウム全周番組を導入した。(5年ぶりのリニューアル。)導入半年後時点において約97%の方から「とても面白い」「面白い」との感想をいただいている。これらの感想を踏まえ、今後の投影内容の検討を進めていく。その他では、令和3年度途中より乳幼児を連れて観覧できる機会を月に2回に増やし、好評である。また、令和3年度中は実績が少なかったが、令和4年度からの導入を想定している「全編生解説プラネタリウム」を見据え、学習投影において完全オリジナルのプログラムを実施したところ、利用校から好評を得られた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>天文学運営事業は人を集める事業であるため、コロナ禍における事業実施については十分な対策が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器は、計画的な修繕など、適切な維持管理に努めていく。</td> <td>天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	天文学運営事業は人を集める事業であるため、コロナ禍における事業実施については十分な対策が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器は、計画的な修繕など、適切な維持管理に努めていく。	天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
天文学運営事業は人を集める事業であるため、コロナ禍における事業実施については十分な対策が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器は、計画的な修繕など、適切な維持管理に努めていく。	天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	本事業は児童館の特色ある事業の一つであり、「プラネタリウム投影」や「天体観望会」などをより充実させていく。児童館が立地する地域は、若年層や子育て世帯が多く、当事業へのニーズは引き続き高いものと推察する。また、プラネタリウムについては、平成元年の児童館開館と同時に設置されたものであることから、経年劣化が進み、一部コンテンツでは、内容の古さが目立っている。今後は、計画的な修繕など、適切な維持管理と共に、時代に合った良質な投影ができるよう、工夫を重ねていく。					

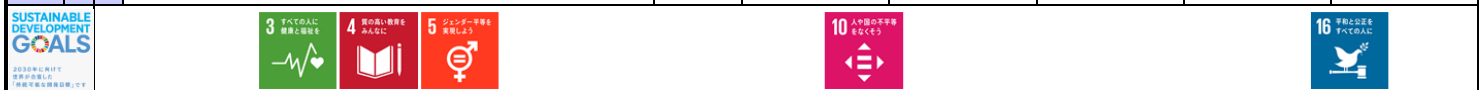
事 業 (一 次 方 向 性)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和4年6月22日				

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 事業期間, 事業年齢, 所管部署名, 事前評価日, 事前評価責任者, 根拠法令等, 事業区分, 事業事業の性質, 直接事業費, 実施計画の位置付け, 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連, 個別計画の位置付け, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業, 手続, 執行方法, 主要業務プロセス, CP戦略プランとの関連.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 令和1年度決算(千円), 令和2年度決算(千円), 令和3年度(予算(千円), 決算(千円), 増減額(千円)), 令和4年度当初(千円), 令和5年度計画(千円). Rows include A (事業費, 人件費), B (国庫支出金, 県支出金, 市債, その他), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分).

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 令和1年度(目標(見込)値, 実績値), 令和2年度(目標(見込)値, 実績値), 令和3年度(目標(見込)値, 実績値), 令和4年度計画(見込)値, 令和5年度計画(見込)値. Rows include ① 母親クラブ数, ② 母親クラブ会員数, ③ 母親クラブ合同活動回数, ④ 各クラブ活動回数, ⑤ 母親クラブ合同事業参加率.



評価年度の主な取組	1 母親クラブ概要				
	クラブ名	主な活動日	会員数(人数)	児童館でのクラブ活動(回数)	参加者数(のべ)
	ばななクラブ	木曜日	30人	4回	68人
	つくしぼクラブ	火曜日	22人	3回	37人
	計		52人	7回	105人
	2 合同活動(準備、打ち合わせを除く)				
	事業名	参加者数	備考		
	リトミック	186人	5回		
	さつま芋苗植え	35人	1回		
	七夕まつり	38人	1回		
運動会	42人	1回			
さつま芋掘り	46人	1回			
クリスマス会	50人	1回			
計	397人				

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	母親クラブは児童館等を拠点として、研修や親子で参加できる行事を通し、子ども達の健全育成を図るために活動している。一方、児童館は平成30年10月1日に改正された「児童館ガイドライン(平成23年3月策定)」において、その機能と役割の一つとして、「子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの推進」が定められた(※第3章 児童館の機能・役割 5)。この中で「地域組織活動の育成を支援」「子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの中心となること」「子どもの健全育成に資するボランティア団体や活動と連携し、地域で子育てを支え合う環境づくりに協力する」と明確に定められていることから、対象及び手段並びに意図については妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
			活動指標	107.14% ★★★★★ 達成された	① 母親クラブ合同活動回数 (増加目標指標)	92.86% ★★★★ 概ね達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
		成果指標	81.71% ★★★★ 概ね達成された	① 母親クラブ合同事業参加率 (増加目標指標)	85.44% ★★★★ 概ね達成された	104.59% ★★★★★ 達成された		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和2年度と比較すれば実績数値が減少したものの、令和3年度についても、成果指標を概ね達成することができた。現代社会において、育児中の親は孤立化しやすく、虐待等の問題に発展しかねないことから、当事業による子育て支援は常に成果向上する余地がある。また、当事業は、基本計画における「地域における子育ての支援」「子どもの健やかな成長の支援」「子育て環境の整備」に合致しており、高く貢献している。				
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
93.72% 若干減少している 21,425.53 円			母親クラブ合同活動回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	337.36% 増加している 25,327.69 円	90.26% 若干減少している 22,862.00 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	令和3年度は、コロナ禍以前の令和元年度の水準にまで目標を戻したにも関わらず、活動指標である合同活動の開催回数を達成した。コストについては、必要最小限の消耗品費等であり、改善の余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし							

改革改善	これまでの改革・改善内容	本事業の目的達成のため、各クラブや合同事業の講師と意見交換を行い、遊びの方法の見直しや必要な用具の準備等について、常に運営の改善を図ってきた。また、各事業への参加を定着させ、児童館利用を促進(ひいては、子育て支援を推進)するため、各種のイベント(例:七夕やクリスマスなど)に児童館職員も参加したほか、プランターへの花植え等、児童館施設の環境整備に各クラブに携わっていただき、児童館運営への相互理解を深めてきた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="0"> <tr> <td>リスク(マイナス要素)</td> <td>機会(プラス要素)</td> </tr> <tr> <td>母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであるが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方へ、クラブの適切な周知に努めていく。</td> <td>児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであるが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方へ、クラブの適切な周知に努めていく。	児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであるが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方へ、クラブの適切な周知に努めていく。	児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	児童館は、子どもたちの健全育成を目的とした遊びの提供と共に、子育て支援拠点の一つでもある。児童館が立地する地域は、若年層のほか、子育て世帯が多く居住することから、母親クラブ活動のニーズは今後も引き続き高く、クラブへの支援は市民満足度の向上に寄与するものと考えられる。また、当該支援が母親のみならず、その子世代までを見据えた定住促進にも結び付くほか、クラブ員の母親自身が子育て分野における地域の担い手となることから、今後も支援を継続していく。					

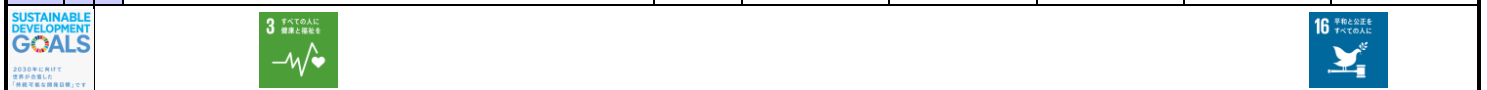
事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和4年6月22日				

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 令和1年度決算(千円), 令和2年度決算(千円), 令和3年度(予算/決算/増減額), 令和4年度当初(千円), 令和5年度計画(千円). Rows include A (Total Costs), B (Specific Resources), C (Subsidy), D (Classification).

Table with 8 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 令和1年度(目標/実績), 令和2年度(目標/実績), 令和3年度(目標/実績), 令和4年度計画(見込), 令和5年度計画(見込). Rows include 対象指標, 活動指標, 成果指標.



評価年度の主な取組	1 吉川市子育て支援センター(おあしす内)
	2 美南子育て支援センター(美南小学校内)
	3 中央子育て支援センター(吉川団地名店街内)
	4 合同イベント

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童福祉法第6条の3第6項に定める対象者である乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として開設しており、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	98.37%, ★★★★★ 概ね達成された	① 子育て支援センター(おあしす)開催日数 (増加目標指標)	97.55%, ★★★★★ 概ね達成された	98.37%, ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	107.55%, ★★★★★ 達成された	① 子育て支援センター(おあしす)利用者 (増加目標指標)	107.05%, ★★★★★ 達成された	42.55%, ★★ 達成度が低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	新たな事業展開、活動の周知を積極的に行うことにより、成果向上の余地はある。なお、当事業は、総合振興計画の「地域における子育ての支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援センターに一度に入室できる利用者の組数を減らした為、利用人数が少なくなっている。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		89.56% 減少している 114,133.54 円	子育て支援センター(おあしす)開催日数 活動指標を単位として換算 単位: 円/日	84.20% 減少している 106,899.83 円	119.21% 増加している 127,434.38 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	地域子育て支援拠点を事業内容の充実とコスト改善の観点から運営しており、改善の余地はない。また、受益者負担は求めない事業であるため、適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	子育て支援センターから遠い地域では、参加しにくい親子もいるため、3か所の子育て支援センターが、各地域の公共施設に向向いて、親子が楽しめる講座を実施した。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、オンライン相談等のニーズが増加すると思われる。</td> <td>オンラインでの相談や講座の開催が増えることで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながると思われる。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、オンライン相談等のニーズが増加すると思われる。	オンラインでの相談や講座の開催が増えることで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながると思われる。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、オンライン相談等のニーズが増加すると思われる。	オンラインでの相談や講座の開催が増えることで、新型コロナウイルス感染拡大防止につながると思われる。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	出前講座の参加者を拡大する為広く周知し、内容の充実を図る。また、3か所の子育て支援センターが協働で実施する「合同イベント」は、オンラインで実施し、各子育て支援センターの特徴を生かしながら有効な事業を実施するとともに、協力体制を強化する。また、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、オンライン相談、電話相談を広く周知していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和4年6月22日				

基 本 本 事 項	事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援センター			
	事業期間	平成14年度 ~ 未設定	事業年齢	19歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	よしかわファミリー・サポート・センター事業実施要綱			
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(1)地域における子育ての支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』		予算科目	会計区分	一般会計		
	目的	対象(誰を、何を)	小学校6年生までの子どもとその保護者		手段(どのような事業を行うのか)	款	項	民生費 児童福祉費	
		対象年齢	00	99		全年齢	目	細目	児童福祉総務費 子育て支援センター等運営事業
		意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	・入会することにより、援助活動が増加する。 ・安心して子育てや仕事を行うことができる。			執行方法	直営		
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主要業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30310201 ファミサボ入会手続き			
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	303402 ファミリーサポートセンター運営事業		CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略1「住みよさ」推し			

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	3,485	1,762	1,416	886	△ 875	706	756
	② 人件費	387	3,769	4,073	3,878	110	4,102	4,102
	正職員投入人員	0.05人	0.11人	0.11人	0.10人	△ 0.01人	0.10人	0.10人
	正職員人件費	387	833	833	751	△ 82	751	751
	会計年度任用職員人件費		2,935	3,240	3,127	192	3,351	3,351
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		3,872	5,530	5,489	4,765	△ 766	4,808	4,858
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	1,189	2,066	1,302	1,444	△ 622	1,641	1,641
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	1,148	1,525	1,302	1,344	△ 181	1,641	1,641
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	10	8	8		△ 8			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,525	1,931	2,877	1,977	45	1,526	1,576
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対象指標	① 0歳～小学校6年生までの子どもをもつ家庭	人	9,500	9,500	9,000	9,000	9,000
	② 3月31日現在の12歳以下の子どもの総数		9,098	8,921	8,591		
活動指標	① 入会説明会の開催	人	110	115	115	115	115
	入会説明会の参加者数		116	55	75		
	② 講習会の開催	回	13	13	13	13	13
	講習会の開催数		12	4	12		
成果指標	③ 相互援助活動	回	90	95	95	95	95
	事前打ち合わせ回数		93	51	63		
成果指標	① 協力会員・両方会員合計人数	人	260	265	280	280	280
	協力会員・両方会員合計人数		268	276	280		
	② 相互援助活動	件	3,100	3,200	2,500	2,500	2,500
	相互援助利用数		3,053	1,818	2,173		

評価年度の主な取組	1 入会説明会
	<ul style="list-style-type: none"> ・入会説明会(定期) 17回 ・入会説明会(個別) 24回 ・協力会員講習会 9回 ・ステップアップ講習会 3回 ・会員交流会 1回
2 広報	(1)「ファミサポだより」を年2回(8月、2月)発行。援助活動中の利用・協力会員のコメント等を載せて、協力・両方会員募集についても記載した。
	(2)広報よしかわ、ホームページ、支援センターだより「るんるんメール」に事業についてや協力・両方会員募集の記載。
	(3)昨年度に引き続き、入会説明会は定期開催に加え、随時開催した。
	(4)毎月ファミサポの利用方法や協力会員の募集等を行う「ファミサポよろず相談会」(ファミサポの紹介や相談会)を開催し、支援や利用の方法を発信した。
	(5)協力・両方会員が不足している駅南地域の人が集まる場所で、協力・両方会員のちらしを配布。また、人が集まるワクチン接種会場であらしの配布を行った。

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	手段は既に制度化されており、5市1町間の広域利用も可能になったことから手段として妥当である。この事業は、保育所や学童保育室、習い事の送迎など、子育てのために必要な援助を協力会員が保護者に代わって有償で行っている。これは、安心して仕事や子育てを行う際に必要不可欠なものであり、意図として妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業評	有効性	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	65.22% ★★★ 達成度がやや低い	① 入会説明会の開催 (増加目標指標)	105.45% ★★★★★ 達成された	47.83% ★★ 達成度が低い	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 協力会員・両方会員合計人数 (増加目標指標)	103.08% ★★★★★ 達成された	104.15% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	協力会員が増加することによってスムーズなマッチングにつながることから、成果向上の余地はあると言える。コロナという社会情勢から、入会の希望者が少なかった。社会情勢を捉えたうえで、成果向上の余地はあると言える。また、当事業は、総合振興計画の「地域における子育て支援」に寄与する事業であり、上位施策への貢献度は高いと言える。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効	単価当りコスト変動率	令和3年度	単位当りコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		69.75% 減少している 75,630.40 円	相互援助活動 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	105.42% 若干増加している 41,632.54 円	260.46% 増加している 108,435.84 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	予算も業務上にも適切な内容である。しかし、相互援助活動の際は負担が出てきてしまっているため、スムーズなマッチングが困難になってきている。特に距離のある支援についてはなかなかマッチングが進まない状態になっている。コロナという社会情勢から支援自体の依頼が少なかったことや、令和2年度からの会計年度任用職員の任用により、単価当りコストが上がっている。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	5市1町での広域利用を可能にした。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	講習会の開催については、予定日以外でも個別に対応していく。利用会員と協力会員との事前打ち合わせをしっかりと行い、お互いが安心して活動ができるようにしていく。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和4年6月22日				